

第2回

南部菱刺し体験会

日時: 7月30日(日) 13:00~14:30

体験費: 300円

場所: 八戸聖書キリスト教会 (牧師: 澤田隆一)

0178-43-3091

八戸市根城大久保 55-44



プログラム

13:00-14:00 南部菱刺し作品作り

今回制作する作品例



ヘヤーゴム、ブローチ、くるみボタン、磁石などを作ります。
糸の色や図案を選ぶなどオリジナルの作品を作ることができます。

第1回体験会の様子



20名ほどの参加
男性もお子様も一緒
に作ることができ
ました。

14:00-14:30 南部菱刺し鑑賞・ティータイム

講師紹介 中村禮子

- 1975年 西野刺しっ娘の会にて伝統工芸士西野こよ氏より菱刺しの指導を受ける
- 1990年 日本民芸公募展 中小企業庁長官賞受賞
- 1991年 日本民芸公募展入選
- 1992年 日本民芸公募展入選
- 1993年 2002年までユートリーの菱刺し教室にて西野こよ氏の助手を務める
秋篠宮両陛下冬季団体にご臨場された際、ユートリー見学時の菱刺しを実演
- 1994年 日本民芸公募展入選
- 2016年 ギャラリーを兼ねた アトリエ 縹 HANADAを開設・主宰
- 2017年 ポータルミュージアムはっちにて個展開催

南部菱刺しとは・・・

青森県南部地方に伝わる伝統工芸、刺繍である。麻布しか手に入らなかった時代の農民・漁民たちが、いくらかでも温まろうと、綿糸や毛糸で菱模様を使って刺繍を施した。それは、女達の冬の手仕事であった。カラフルな毛糸が手に入るようになると、自分たちのために「三巾前垂れ」を刺した。

よく間違えられるものにこぎん刺しがあるが、こぎん刺しは津軽の伝統工芸である。私（講師）が菱刺しをしていることを知ってもらおうとすると、「こぎん刺しをなさっているのですか」とわざとはぐらかしているのか？と思うほど南部の人間でも存在を知らないという現実がある。南部菱刺しは布の縦糸を偶数本ずつ拾い模様を作っていく横菱になり、対して津軽こぎん刺しは奇数本ずつ拾い模様をつくっていく縦菱となる。便利になったこの時代だが、少しずつ形を変えながらも伝統は残していかなければならないと思っている。



会場：八戸聖書キリスト教会（牧師：澤田隆一）

「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」

（新約聖書マタイ11章28節）

ごあいさつ

教会は、日頃の喧騒や利害関係から離れて、一人の人間として神様に向き合うことが出来るところです。教会の門はいつでも、誰にでも開かれています。

今回は、本教会を会場として、伝統工芸を気軽に楽しんでいただける体験会を企画いたしました。ぜひこの機会に、南部の伝統に触れてみませんか。細かい作業なので「見学だけなら」「少し触れてみるだけ」という方も大丈夫です。

「教会に入ったことがないから、中に入って見たいな。」という方も大歓迎いたします！どうぞお気軽においでください。

